

JR東労組新潟

東日本旅客鉄道労働組合新潟地方本部OB会

〒 950-0086 新潟市花園 1-1-5

OB会ニュース

発行責任者 山崎 次 男

本部OB会第25回定期総会 オンラインでのリモート開催！

コロナ禍におけるOB会活動の継承・発展のため取組みの強化を確認！

第25回本部OB会定期総会が4月27日13時より開催されました。

昨年の総会は「書面審査」による開催でしたが、今年は東関東・西関東ブロックが本部に、東北・上信越ブロックがそれぞれの地本事務所に集まり、初めてオンラインによるリモート開催となりました。新潟地本からは三役3名が参加しました。(水戸・高崎は欠席)

総会は冒頭、本部OB会奥山会長より、

- ①水戸・東京両地本OB会との再建は今一步の状態、高崎地本OB会とは連絡が取れない。
- ②4月25日の衆参の補欠・再選挙で野党系が全勝した。今の有権者の意識だ。
- ③フクチンの接種が遅々として進まない。菅政権が進める感染防止対策の結果だ。
- ④高齢者の医療費の割合が、年金の「75歳支給給」など高齢者に反対する。
- ⑤JR東が五千億円の赤字。本部は緊急提言を提出し、具体的に取組んでい

る等の挨拶がありました。

続いて来賓の佐藤本部副委員長から、

- ①東京地本、八王子地本が再建され、5月25日には水戸地本も再建の予定。
- ②組合員とOB会員の新型コロナ感染者に見舞金(一万円)を支給する。
- ③21春闘では会社に初めて「定期昇給」に踏み込まれた。今後、赤字、コロナ禍の中で、労働条件の悪化が懸念される。
- ④会社は今後鉄道事業5割、サービス事業5割の収支構造になっていく方向で、働き方も大きく変化していく。雇用と生活を守るため第2の「国鉄改革」と位置づけ闘っていく。
- ④東労組高崎地本事務所に「ひがし労」が入り、私たちの組合費を不正流用していたことが判明。高崎地本に制裁の申請を出している。組織の強化・拡大を図り、1-2地本が足並みを揃えてしっかり闘っていき、との挨拶がありました。

その後の質疑では「コロナ禍」の中でOB会活動や、OB会との再建に向けた決意など、参加した全地本から発言がありました。

新潟は高橋事務長が発言！

- ①高崎地本OB会の欠席は上信越ブロックの仲間として交流してきたので非常に残念だ。新潟地本OB会は東労組OB会に結集していく。
- ②昨年の地本総会は規模を縮小しながら開催。しかし支部・分会では「コロナのため中止を余儀なくされた。今年はOB会らしく活動を活性化していきたい。
- ③三つの補選・再選挙の勝利は野党共闘の大きな成果だ。野党と市民の共闘をめぐる新潟方式が政党にも浸透した結果だ。
- ④昨秋以降、衆院選の野党統一候補の勝利に向けて、地本OB会で紹介者カートの取組みを展開していると、決意を述べました。

総会は植松事務局長から、①コロナ禍の中で大変だができることからやっていく、②国鉄改革の経験を現役に伝えてほしい。③東京五輪開催に拘りコロナ対策を疎かにしている菅政権を打ち破ろう。④短時間だが有意義な総会だった。今後意見交換をしていくこととまとめがあり、すべての方針を満場一致承認し、最後に奥山会長の団結力ンバローで終了しました。以上

2021年度OB会 年会費

納入御礼

年会費の納入を要請してきましたが、会員の皆さんの協力により、順調に納入していただき感謝致します。

特情による一部退会がりましたが、多くの皆さんから継続していただきました。

また未納の方は、早めの納入をお願いします。

第25回定期総会の開催について

2月下旬を予定していましたが、新型コロナ感染症とフクチンの接種状況、更には衆議院総選挙の動向などを検討、10月下旬まで延期し開催する運びとなりました。会員の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

開催予定日 10月30日(土) 13時から (細部は別途)

新潟地本OB会